

平成30年度第2回図書館協議会議事録（要旨）

日時 平成31年3月13日(水)

午後2時～

場所 豊明市立図書館会議室

出席者 鈴木(紳)、橋本、近藤、小柳津、宮坂、柴田、鈴木(裕)、西谷委員、事務局

欠席者 樋口委員

議題

- (1) 図書館の基本方針について
- (2) 平成31年度図書館事業計画（案）について
- (3) その他

- ・豊明市視聴覚ライブラリーの廃止
- ・栄分室臨時休室のお知らせ

質疑

議題（1）図書館の基本方針について

委員：主要事業の図書館営繕工事の時期は決まっているのか？ 利用者に差し支えないか？

事務局：議会で承認されれば、できるだけ早く、消費税の上がる前に行いたい。

エアコンの使用時期および利用者の多い夏休みの時期をはずし、休館日に行う。完全停電は丸1日、月曜休館日を利用。内装を剥がす配電工事は、別の休館日に行う。

委員：おすすめコーナーの土筆の展示にわくわくした。年々楽しいレイアウトになっている。多言語の書棚も充実し、本が増えてきてよかった。

（豊明市も）外国人住民が増加、自国語の本に触れられる機会はよい。引き続き、多言語図書の充実を求める。

委員長：図書館資料購入予算が1400万円ですずっと保たれている。

事務局：図書館の蔵書数はスペース的にも飽和状態だが、新刊だけでなく、買替えも必要。何とか予算内で必要な資料を購入している。

一方、施設が老朽化し、維持・修理に費用が必要。資料に回す予算の維持が難しい。

委員：和式トイレは、もう子どもが使えない。自分も洋式トイレを使う。早急に

トイレをリノベーションしてほしい。

事務局：トイレの改修計画は立てている。

委員：喫煙コーナーが 20m奥に入ったので、においを感じなくなった。

事務局：国の決めに従い、喫煙コーナーは 7 月から全面撤去の予定。

委員：大活字本や拡大読書器、郵送貸出など、高齢者や障害者向けのサービスをもっと PR してほしい。館報の文字が大きくなってきたなど、配慮を感じる。

事務局：郵送貸出は実績ゼロ。ポストまで行く必要があるなど、返却方法が課題。

議題（2）平成31年度図書館事業計画案について。

委員：中学生は多忙。ゆとり教育からの脱却で、なかなか行事への参加を促せないのが現実。生涯学習の観点から、高校～大学生になってからも図書館に行けるように働きかけたい。

委員：図書館へは、わざわざ足を運ぶ必要がある。

地域のサロンに読み聞かせに行くと、とても喜ばれる。ただ、持って行く本を選ぶのが大変。芥川龍之介や泉鏡花の作品を紙芝居にしたものよりも、小学生対象の昔話や懐かしい話を読んだり、歌ったりするほうが喜んでもらえる。お年寄り扱いはダメ。

児童館も外国人が多い。英語・スペイン語を話す人が多い。

事務局：図書館に、兄弟で来て、上の子が下の子に借り方を教えている。言葉がわからない人には声を掛けづらいが、今のところ、利用方法を知っている親や友だちが一緒に来て、貸出手続き等の手助けをしている。

委員：（学校でも）学校教育課に、翻訳アプリを要望している、必須。

委員：利用方法の説明は、事前に外国語で作っておける。

議題（3）その他について 説明

1) 栄分室臨時休室のお知らせ

小中学校エアコン設置工事に伴い、事前に受電設備の整備を行うために停電する。返却日も延長する。

2) 豊明市視聴覚ライブラリーを平成 31 年 3 月 31 日をもって廃止。

貸出機材、ソフトは図書館に移管し、団体へ貸出する。